

食物栄養学科履修系統図

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

食物栄養学科の教育目標は、本学の教育目標と教育方針の下に、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して、社会的に自立して生きていく上で必要な①スキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能、②食と健康に関する専門職に必要な専門的知識・技能、③建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力を統合的に身に付け、社会に出てからはこれらの知識・技能をベースに生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域の課題解決に貢献できる人材を育成することである。

正規のカリキュラムの所定の単位を修得した者には卒業を認定し、短期大学士（食物栄養学）の学位を授与します。

学位を授与するにあたって重視する項目は以下のとおりです。

- ① 建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得していること。
- ② 客観的な証拠に基づいて科学的にものごとの判断ができること。
- ③ 食生活の改善を通して健康の保持増進および生活習慣病予防等に向けた提案ができ、人々の生活の質（QOL）の向上に貢献できること。
- ④ 自立した社会人として、一般的知識と技能と常識に裏付けられた考えを持ち、自己研鑽に取り組み、自らの可能性を活かしつつ組織や社会の中で貢献できること。

